

7/30 豪雨被災者のために有効活用を
～災害義援金の贈呈～

▶浅田市長(左)へ義援金を贈呈した野田会長(右)



令和2年7月豪雨で被災した人たちの支援に活用してほしいと、荒尾ライオンズクラブから義援金の贈呈がありました。

荒尾ライオンズクラブは、社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」の単体クラブで、ことし4月にも新型コロナウイルスに対する市の感染予防対策に役立ててほしいと寄付金をいただいています。義援金を受け取った浅田市長は「被災者のために大切にに使わせてもらいます」と感謝を伝えました。

9/11 健やかな成長を祈願して
～西原大神宮秋季例大祭 にしぼるさん～

▶子どものすじ、ひきつけ、夜泣きにも利益があるとされています



西原大神宮で秋の例大祭にしぼるさんが行われました。にしぼるさんは子どもの神様として信仰されていて、神の使いである鶏の絵が描かれた絵馬に、子どもの年齢と名前を書いて奉納する珍しい習わしがあります。

この日は四ツ山幼稚園の年長児童たち30人ほども参拝に訪れました。八幡台四丁目から親子3代でお参りに来た田村さんは「2人の子どもが健康で元気に育ってほしいですね」と話していました。

9/18 わたしたちの高校は魅力がいっぱい
～岱志高校の魅力を考えるワークショップ～

▶自分たちの高校の強みや弱みを考える生徒たち



近年、生徒数の減少が深刻になっている岱志高校を活気あふれる学校にするため、岱志高校在校生20人による「岱志高校の魅力ある高校づくりに向けたワークショップ」を実施しました。生徒たちは高校の強みと弱みを挙げ、それに対するアイデアを話し合い、「岱志高校の活動をSNSで発信する」、「中学生との交流を増やす」など、さまざまな意見が出ました。

今後、今回出た意見を参考に取り組み内容を検討し、高校の活性化を目指していきます。

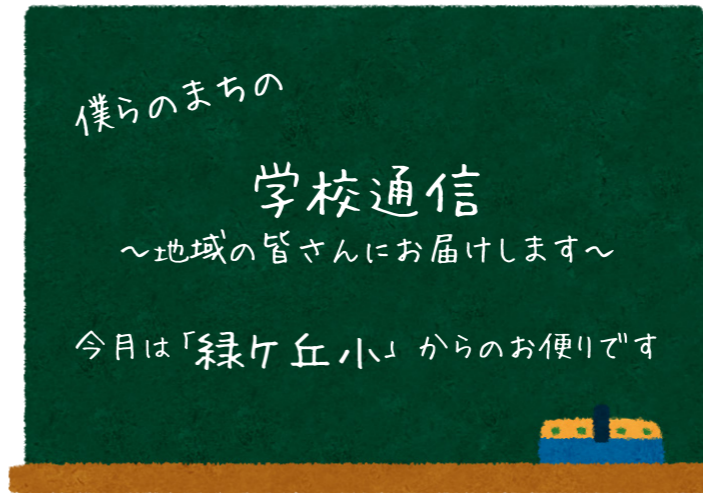
9/26 農家の自信作が多数出品
～荒尾梨品評会～

▶ジャンボ賞を受賞した藤丸さん(右)と優賞を受賞した松下さん(左)



市の特産品である荒尾梨「新高」の品質向上とPRを行うため、JAたまなと荒尾梨部会は、あらおシティモールで荒尾梨品評会を開催しました。梨農家54軒が自信作を出品し、梨の糖度・硬度・色・艶・形などの品質を競い、厳正な審査の結果、最優秀賞「優等」には松下信義さん(平井)、ジャンボ賞に藤丸征四郎さん(桜山)が選ばれました。

会場の外では、梨の試食販売会も開催され、多くの人でにぎわいました。



キラキラ笑顔の緑ヶ丘小学校

緑ヶ丘小の目指す学校像は、「友だち大好き、遊び大好き、勉強大好き キラキラ笑顔の緑ヶ丘小学校」です。緑ヶ丘小では「地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)」を進めています。

地域とともに行っている2つの取り組みを紹介します。

みどりまつり

地域の行事である「みどりまつり」の企画・運営に、平成28年度から6年生の児童たちも参画しています。

「たくさんの人に来てもらえるように」、「来てもらった人たちに喜んでもらうために」自分たちには何が出来るか、目を輝かせて取り組む子どもたちの貴重な学びの機会となっています。



緑ヶ丘小ふるさとウォーク

昨年度、学校と保護者、地域のみなさんとの協働により実施。校区内に4つのコースを設定し、縦割り班に分かれて決められたコースを歩きました。

普段あまり通らない道を実際に歩き、コース上の史跡や名所に設置されたチェックポイントで地域の人から説明を聞くことで、校区のことを知り、愛着と誇りを感じる機会となりました。



おまな内容	main contents
学校通信	2
まちの話題	3
連載「あらお健康手帳」	6
令和元年度荒尾市の決算	8
市職員の給与・定員管理を公表します	12
すくすく子育て	14
市民病院からのお知らせ	16
あらおのいきいき企業	17
農業委員会だより	18
くらしの情報	19
試験・募集・イベント	25
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	29
図書館情報	30
文化センター情報	31
相談の窓口など	32
あらおカレンダー	34

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎ 福祉課福祉係 ☎ 63-1406

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。

広報紙あらおをスマホへお届け



アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも・簡単に広報紙を閲覧することができます。